

## 南海トラフ地震検討ワーキングの設置について（案）

### 1 設立趣旨

南海トラフ地震について、防災対策推進検討会議の下にワーキングが設立されるなど、国における検討が進められており、知事会としても、南海トラフ地震に対応可能な広域応援体制の構築等について検討していくことが必要。

### 2 ワーキングの構成

- ・設置当初は、「東海・東南海・南海地震による超広域災害への備えを強力に進める 9 県知事会議」構成県で検討開始
  - \*静岡、愛知、三重、和歌山、徳島、愛媛、高知、大分、宮崎
  - \*各県の防災担当課長で構成（オブザーバー参加：新潟県（災対特委員長県））
- ・検討状況に応じて、構成県を拡大していくことも検討

### 3 検討の内容

- 南海トラフ地震における広域応援体制（応援・受援）とそれを円滑に機能させる全国知事会としての災害対応のあり方（オペレーション等）について検討を行う。

〔想定される検討項目〕

- ①南海トラフ地震を想定した人的、物的支援のあり方
- ② 〃 広域避難のあり方
- ③ 〃 施設、業務提供のあり方
- ④上記①～③に対する災害対応のあり方（オペレーション等）

### 4 検討の進め方

- 国ワーキングにおける議論を注視しながら、検討を進める。
  - \*復興協力本部における広域応援体制の検討（カバー県構想）を踏まえる。

### 5 役割分担

- 必要に応じ、テーマごと、あるいは応援側・受援側で取りまとめ県を置くなどの役割分担を行う。
- 全体取りまとめ（幹事）は高知県（案）

### 6 想定されるスケジュール

- 平成 24 年 6 月下旬 ワーキング設置
  - \*災害対策特別委員会（H24.6.19）でワーキング設立承認後
- 平成 24 年 11 月頃 検討状況の報告
  - \*災害対策特別委員会開催予定（H24.11 頃）
- 平成 25 年 3 月頃 最終取りまとめ
  - \*国の南海トラフ地震ワーキングは今冬取りまとめ予定